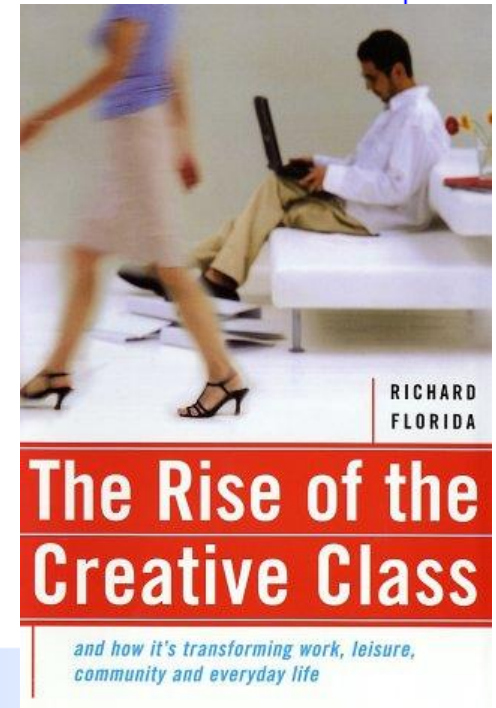
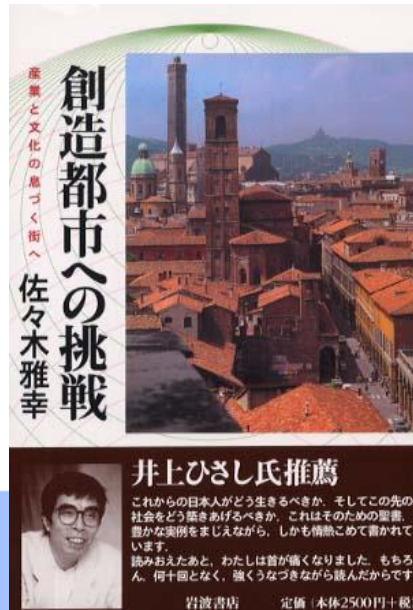
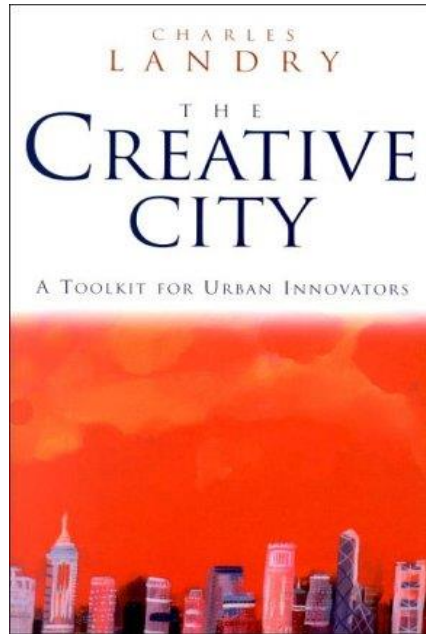


世界と日本の創造都市

佐々木雅幸



C.ランドリーの創造都市政策論

Landry, C., *The Creative City* :

A Toolkit for Urban Innovators, London: Comedia, 2000

◇都市問題に対する創造的解決のための「創造的環境」creative milieuをいかにして作り上げ、運営して持続的にしていくのか、セレンディピティが生まれる「場」、クリエイティブクラスが集まる「場」をどうつくるのか？実践的に「創造都市をつくるための道具箱」を提供するコンセプチュアルな「創造都市政策論」。



クリエイティブ・ロンドンとオリンピック2012の成功

1. 創造産業の振興

文化・メディア・スポーツ省と連携して音楽・映像・デザイン・13業種を創造産業として選定し、積極的な振興を図る「クリエイティブ・ロンドン」を推進し、雇用の拡大をはかる。

2. パブリックアートによる都市再生

ミレニアムにあわせて、古い火力発電所を現代美術館に転換し、さらに大英博物館やビクトリア・アルバート美術館の改修、セント・パンクラス駅改修やコベントガーデンの再生など、パブリックアートによる都市再生を展開。

3. クリエイティブ・パートナーシップ(CP)

アートマネージャーを学校に派遣し、教育と芸術との協働により「考えること」「学ぶこと」のあり方に変革をもたらすと共に、将来において創造産業に従事する人材を育成。



1. 都市ブランドの再確立

クリエイティブ・ロンドンの成功により、グローバル金融都市からグローバル創造都市へと転換。雇用面でも金融・製造業を追い抜く。2012年オリンピック誘致にあたり、パリと競って、勝利する原動力となり、カルチュラルオリンピック成功 18万イベント、4300万人の参加

2. 衰退地区の再生とホームレスの自立支援 246億円(スタジアム583億円)

若手デザイナーやクリエイターが衰退地区に住み着き、当該地区の環境を改善し、創造的街区に転換させた。ビッグイシューの創刊やストリートワイズオペラなどを通じてホームレスの自立を支援し、社会包摂を試みる。

3. 学習態度・教育環境の改善と学力の向上

学びを放棄したような子どもたちの学習態度が変わり、会話が生まれ、荒れた学校の教育環境の改善につながった。クリエイティブ・パートナーシップを経験した生徒の方が、経験しなかった生徒よりも英語、算数、理科の成績が向上した。

R. フロリダの創造階級論

■R. Florida, *The Rise of the Creative Class* 2002

現代経済の担い手として「創造階級」の登場と勃興に注目し、そのエートスと仕事およびライフスタイル、そして彼らが選択するコミュニティの特徴を分析し、創造階級が好んで居住する都市や地域こそ、経済的パフォーマンスが優れていることを「ハイテク指標」と「**ゲイ指標**」の相関で示す。

- 「創造的中核」 ①コンピュータ・数学、②建築・エンジニア、
③生命・自然科学および社会科学、④ 教育・訓練・図書館、
⑤芸術・デザイン・エンターテイメント・スポーツ・メディア
「創造的専門職」 ①マネジメント、②ビジネス・財務、③法律、
④保険医・技師、⑤セールス・マネジメントの各専門職種

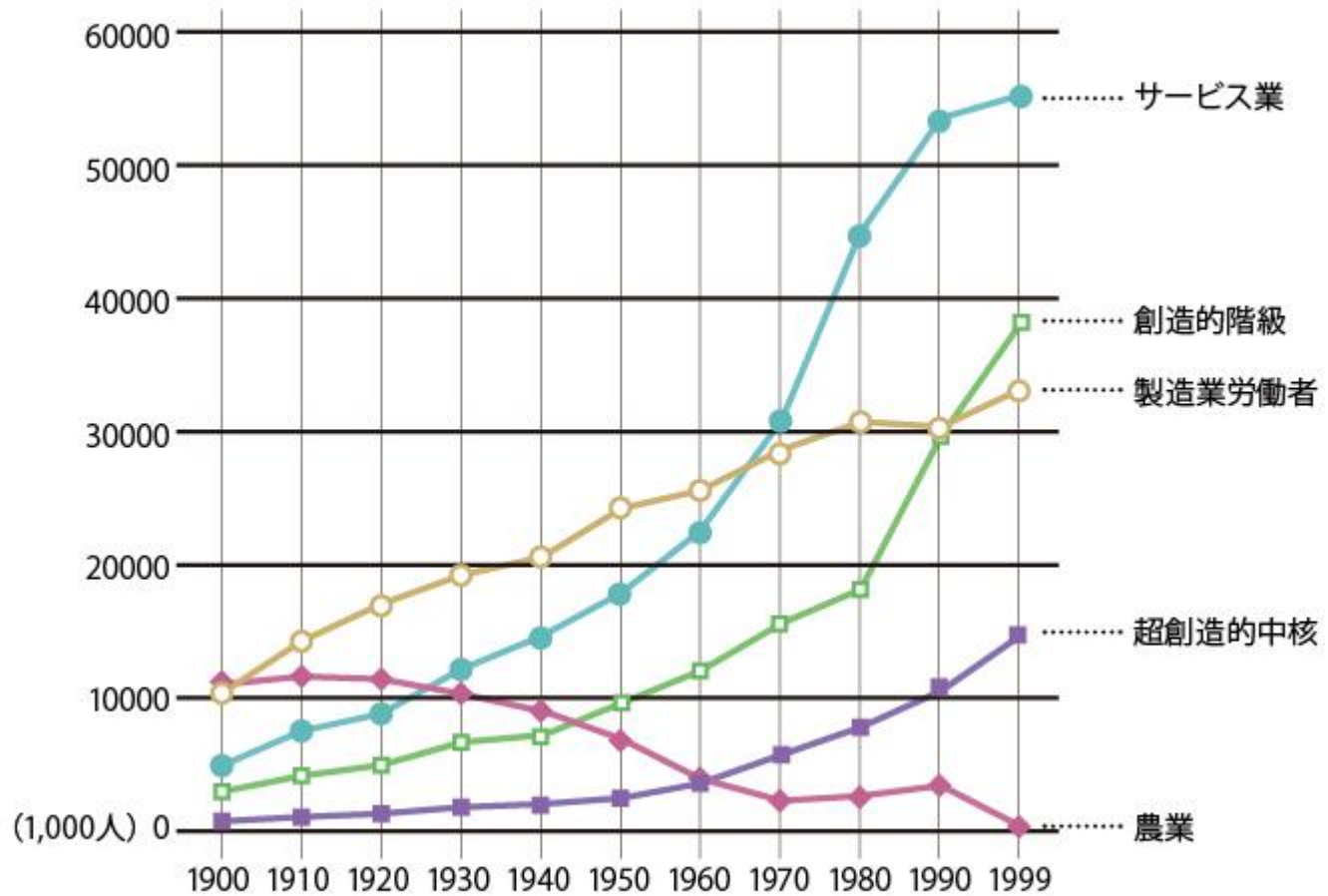


創造人材を受け入れる「寛容性」(R. フロリダ)

■R.フロリダは、21世紀型都市の新しい担い手として「創造階級」の登場と勃興に注目し、そのエートスと仕事およびライフスタイル、そして彼らを選択するコミュニティの特徴を分析し、創造階級が好んで居住する都市や地域こそ、経済的パフォーマンスが優れていることをわかりやすい具体的な指標によって示した。世界の都市政策に大きな影響を与えた彼の「創造性指数」は3つのT、すなわち、

- Talent 人材
- Technology 技術
- Tolerance 寛容性、雅量

「ゲイ指数」とはゲイの人々が隣に住んでいても排除せずに、受け入れる「寛容性」を意味している。すなわち、既成の価値観にとらわれない前衛的なアーティストのような人々を排除しないコミュニティこそ創造的で、ハイテク分野の先端的な人材が好んで住む社会的環境を特徴付ける



創造階級の増大(1900-1999) 出所: R. Florida. The Rise of Creative Class, 2002.

アメリカの創造都市ーサンフランシスコ

スタンフォード大学とGAFAの伸長

市民参加型アートセンターによるSFの都心再生

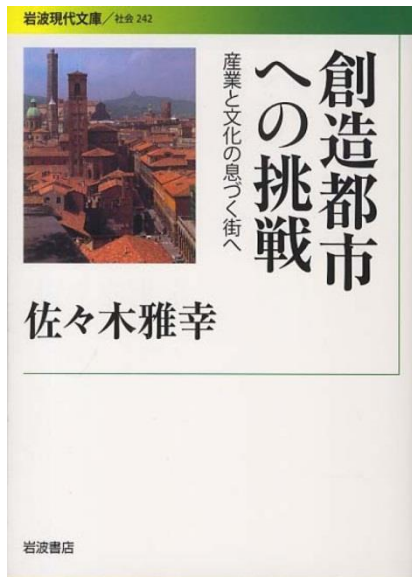
- Yerba Buena Center for the Artsを核とした創造産業の集積
マルチ・メディア・ガルチ
- 無名のアーティストらを支援する多様なネットワーク
- ホテル税によるアート支援



写真の引用：“Yerba Buena Center for the Arts”のWEBサイト
<http://www.yerbabuenaarts.org/splash.html>

「創造都市」とは何か？

■ 市民一人一人が創造的に、 働き、暮らし、活動する都市



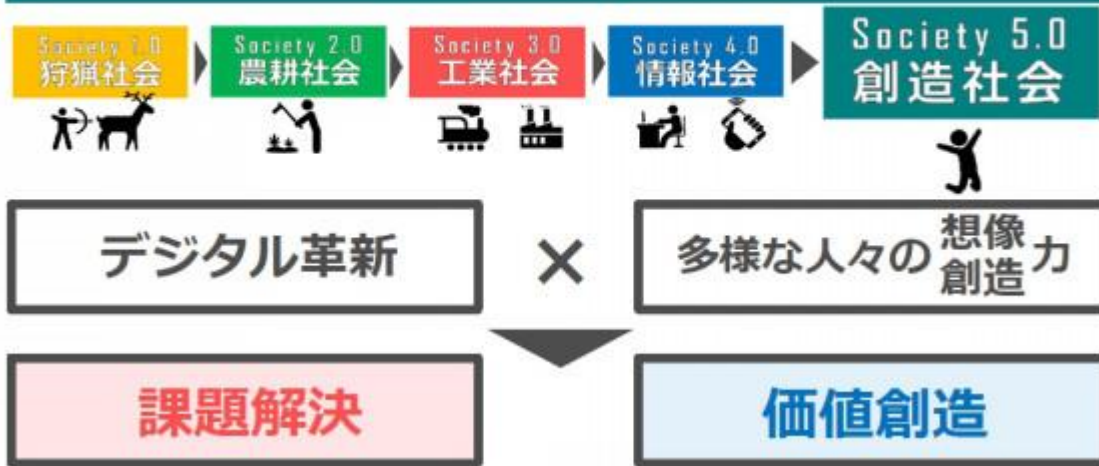
「創造都市」とは「市民の創造活動の自由な発揮に基づいて、文化と産業における創造性に富み、同時に、脱大量生産の柔軟な都市経済システムを備え、グローバルな環境問題や、あるいはローカルな地域社会の課題に対して、創造的問題解決を行えるような『創造の場』に富んだ都市である」

佐々木雅幸著『創造都市への挑戦』 岩波書店、2001年
岩波現代文庫、2012年

工業社会から創造社会へ

	工業社会	創造社会
生産システム	大規模生産 トップダウン	フレキシブル生産 ボトムアップ
消費システム	非個性的大量消費	個性的文化的消費
流通・メディア	大量流通 マスメディア	ネットワーク ソーシャルメディア
優位性	資産・土地・エネルギー	クリエイティブ人材 知恵知識・文化芸術
都市の形	産業都市	創造都市
ツーリズム	マスツーリズム	クリエイティブツーリズム

Society 5.0



「情報社会」と発展してきた。
■ いま、デジタル革新をきっかけにして、第5段階の新たな社会への変革のときを迎えている。



ユネスコ 文化多様性条約と創造都市ネットワークの提唱

ユネスコは2001年に「文化多様性に関する世界宣言」を採択し、2005年には「文化多様性条約」を採択した。

有形無形の世界遺産の保存のための活動とともに、現に生きている文化産業の多様な発展を都市レベルからすすめる目的で2004年、ユネスコは文化多様性に向けた**創造都市ネットワーク**という都市間の戦略的な連携のためのプログラムを新たに加えることとした。

7分野、現在246都市：**エディンバラ(文学)、ボローニャ(音楽)、ベルリン(デザイン)、モントリオール(デザイン)、ポパヤン(食文化)、ブエノスアイレス(デザイン)、サンタフェ(フォークアート)、アントワープ(音楽)、アスワン(フォークアート)、グラスゴー(音楽)、リヨン(メディアアーツ)、メルボルン(文学)、神戸(デザイン)、名古屋(デザイン)、金沢(クラフト)、札幌(メディアアーツ)、浜松(音楽)、鶴岡(食文化)、篠山(クラフト・フォークアート)、山形(映画)、旭川(デザイン)、ソウル(デザイン)、上海(デザイン)など**



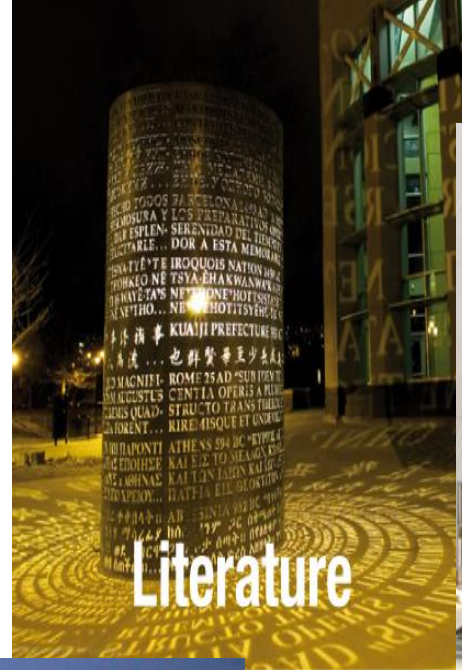
Creative Cities Network



Crafts and Folk Art



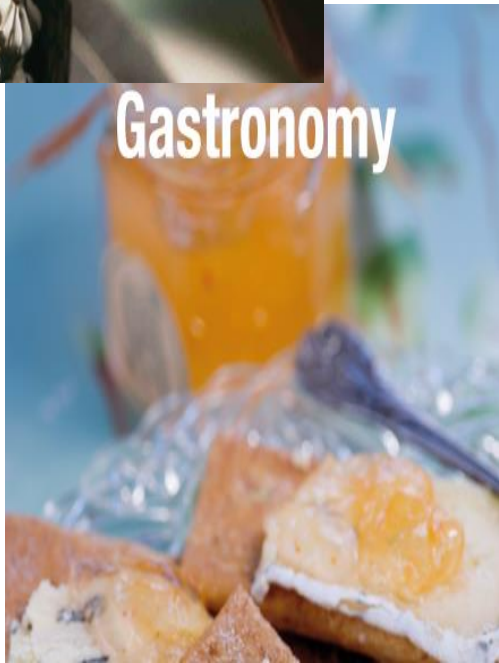
Music



Literature



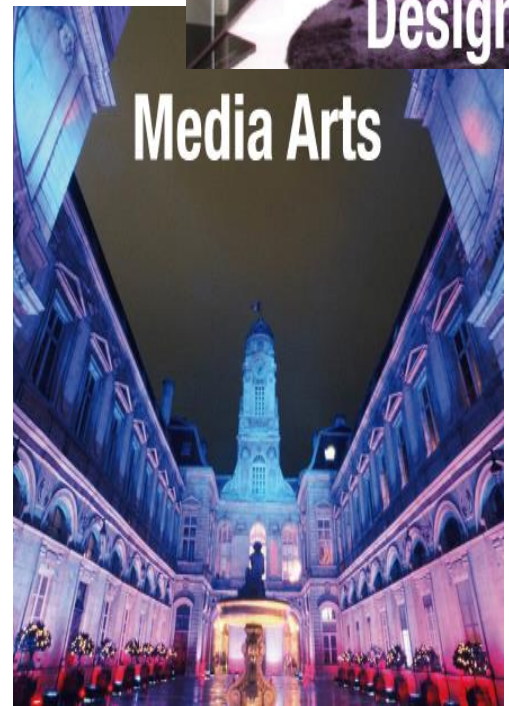
Design



Gastronomy



Film



Media Arts

UNESCO 創造都市ネットワーク

84か国 246 都市が加盟



SDGsとユネスコ創造都市との連動

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための目標(SDGs)」において、先進国、開発途上国を問わず、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、世界全体の経済、社会及び環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進することが明示。



欧州文化首都 ボローニャ 2000



重点目標

若い世代の市民の積極的な参加
市民の文化消費のレベルを上げる
「文化の生産と創造的発展」をめざす。
文化観光都市を確立する。

主要プロジェクト

都心に「創造的な文化空間」を創出する
目的で、300のコンサート、230の展覧会
、260のコンベンション、125のラボラトリ
一等、合計2000時間に及ぶイベントと保
存修復による文化インフラ整備に1700
億リラを投じた。

公式報告書にみる成果

観光客は23%の増加。
GNPが2000億リラの増加。
雇用で1600人の増加。

ボローニャ ユネスコ音楽都市へ

職人のオペラとオペラハウス

ベルディ・ロッシーニが活躍

ジャズ

現代音楽グループ

音楽博物館

若者オーケストラの

スタートアップ



『カルメーン』



『清教徒』



『エルナーニ』



元スーパーマーケット
を練習場に

モントリオール 北米の代表的な創造都市

- ケベック州の州都 人口350万人
 - 創造階級の集積 北米2位、ハイテク職種 4位
→Rフロリダの調査結果による
 - カルチャー・モントリオールによる活動
 - カルチャーディの開始
 - 2005年策定の市の文化政策
- ①文化を全ての人のために一知識文化都市に
 - ②文化と芸術に対する積極的な支援一文化創造都市に
 - ③生活の質の向上一文化的要素の重視



モントリオール 維持可能な創造都市へ

- 国連生物多様性条約 モントリオール議定書
- 北米最大のゴミ捨て場をサーカスアートシティへ
- ニューヴォー・シルクの世界拠点に
- 世界的文化産業シルク・ドウ・ソレイユと
社会実験プロジェクトTOHU



地中海の創造都市 バルセロナ

- カタルーニャ州の州都 人口160万人
- 都市に充満する現代芸術のエネルギー
ピカソ・ダリ・ミロ、ガウディの建築群
- アートの力を多面的に活用して都市を再生する



創造都市 バルセロナ

都市再生のバルセロナ・モデル

- 「公」と「私」の柔軟な組み合わせによる都市再生
- 広場を「文化空間」に一美術館、パブリックアート
- 多文化共生の場の創出



サンタフェ・アメリカ初のユネスコ創造都市

クリエイティブ・ツーリズムによるネットワークを提唱
「クリエイティブ・ツーリズムとはマス・ツーリズムの弊害を避け、地域固有の文化資源を生かした新しいタイプのツーリズムであり、観光客と地域住民が他に代えがたい感動や経験を共有することにより新たな価値を生み出し、地域の持続的発展に貢献するものである。」



SF クリエイティブツーリズムの目標と資源

- サンタフェのユニークな個性を保存しながら活気のあるツーリズム産業を育成し、地域の経済発展をめざす。
- 自然景観や独特の都市景観が、ジョージア・オキーフなど多くの芸術家を惹きつけ、彼女や協働したアーティスト、関連テーマの作品を展示するジョージア・オキーフ美術館があり、美術系の大学もある。
- 芸術品市場はニューヨークに次ぐ全米第2の大きさと、ギャラリーや美術商の数は230を超える。



創造都市政策の特徴と成果

第1に、「創造都市政策」、すなわち、「文化と創造性による都市再生事業」は、現代アートを利用して都市アイデンティティを回復し、新たな創造産業を生み出し、近隣住民の社会包摂や汚染地区の環境再生など多面的にわたって都市を再生する上で、見事にその有効性を実証している。

第2に、そのさい、都市文化政策はもとより、都市経済政策、都市開発政策、環境政策の分野との政策統合が重要な課題になっており、芸術文化のもつ創造性を市民のレベルから、行政組織のレベルにまで高めて、さらに「都市の創造性」を十全に発揮させるような展望を持った総合政策になっていく必要がある。

第3に、このような新しい「創造都市」は公共部門による取り組みのみでは実現しない。むしろ、市民やアーティスト、さらには経済界を巻き込んだ横断的な組織によって草の根からの柔軟でオープンマインドな協力体制が機能したときに成功するケースが多いことである。



日本における創造都市の展開

- 2001年 金沢創造都市会議 開始(1999年3月プレ会議)
- 2004年 横浜市文化芸術都市創造事業本部創造都市推進課
神戸市「文化創生都市」宣言
- 2006年 札幌市創造都市宣言 京都市文化芸術都市創生条例
- 2007年 文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門) 開始
世界創造都市フォーラム in 大阪 →ラウンドテーブル会議
- 2008年 神戸・名古屋、ユネスコ創造都市(デザイン)
- 2009年 金沢、ユネスコ創造都市(クラフト)
- 2010年 文化庁文化芸術創造都市モデル事業 開始
- 2011年 日中韓文化大臣会合において東アジア文化都市の提唱
創造農村ワークショップ 仙北市・篠山市・木曾町・東川町
- 2013年 創造都市ネットワーク日本の立ち上げ
札幌、ユネスコ創造都市(メディアアーツ)
- 2014年 東アジア文化都市事業開始、横浜市・泉州市・光州市
ユネスコ創造都市登録 浜松(音楽)、鶴岡(食文化)
- 2015年 篠山(クラフト・フォークアート)
- 2017年 山形(映画) 2019年 旭川(デザイン)

創造都市ネットワーク日本CCNJ 設立



2012年2月4日、文科省で金沢、横浜、神戸、浜松、新潟など32自治体200名が参加してアジェンダを採択。内閣官房、文化庁、経産省、総務省からも参加者。

2013年1月13日、横浜においてCCNJが設立され、現在、117自治体・41団体で構成。

創造都市ネットワーク日本(CCNJ)参加団体一覧

■自治体(117自治体:2021年1月現在)

北海道地方	札幌市(北海道)、旭川市(北海道)、美瑛市(北海道)、東川町(北海道)、美瑛町(北海道)、剣淵町(北海道)
東北地方	八戸市(青森県)、盛岡市(岩手県)、仙台市(宮城県)、多賀城市(宮城県)、加美町(宮城県)、仙北市(秋田県)、山形市(山形県)、鶴岡市(山形県)、新庄市(山形県)、長井市(山形県)、金山町(山形県)、いわき市(福島県)、喜多方市(福島県)、白河市(福島県)、伊達市(福島県)
関東地方	取手市(茨城県)、足利市(栃木県)、前橋市(群馬県)、中之条町(群馬県)、川越市(埼玉県)、さいたま市(埼玉県)、草加市(埼玉県)、富士見市(埼玉県)、浦安市(千葉県)、松戸市(千葉県)、佐倉市(千葉県)、品川区(東京都)、豊島区(東京都)、板橋区(東京都)、横浜市(神奈川県)、小田原市(神奈川県)、茅ヶ崎市(神奈川県)、鎌倉市(神奈川県)
中部地方	新潟市(新潟県)、三条市(新潟県)、十日町市(新潟県)、津南町(新潟県)、高岡市(富山県)、氷見市(富山県)、南砺市(富山県)、金沢市(石川県)、珠洲市(石川県)、木曾町(長野県)、大垣市(岐阜県)、可児市(岐阜県)、静岡市(静岡県)、浜松市(静岡県)、三島市(静岡県)、名古屋市(愛知県)、瀬戸市(愛知県)、碧南市(愛知県)
近畿地方	長浜市(滋賀県)、草津市(滋賀県)、守山市(滋賀県)、甲賀市(滋賀県)、京都市(京都府)、舞鶴市(京都府)、南丹市(京都府)、与謝野町(京都府)、大阪市(大阪府)、堺市(大阪府)、豊中市(大阪府)、神戸市(兵庫県)、姫路市(兵庫県)、豊岡市(兵庫県)、篠山市(兵庫県)、奈良市(奈良県)、明日香村(奈良県)
中国地方	出雲市(島根県)、岡山市(岡山県)、真庭市(岡山県)、美作市(岡山県)、広島市(広島県)、尾道市(広島県)、宇部市(山口県)、山口市(山口県)、岩国市(山口県)
四国地方	神山町(徳島県)、高松市(香川県)、丸亀市(香川県)、松山市(愛媛県)、内子町(愛媛県)、高知市(高知県)
九州・沖縄地方	北九州市(福岡県)、久留米市(福岡県)、宗像市(福岡県)、熊本市(熊本県)、多良木町(熊本県)、大分市(大分県)、別府市(大分県)、臼杵市(大分県)、竹田市(大分県)、那覇市(沖縄県)、石垣市(沖縄県)、中城村(沖縄県)
都道府県	岩手県、群馬県、埼玉県、神奈川県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、岡山県、香川県、徳島県、佐賀県、大分県、宮崎県

金沢創造都市会議 2001年開始 ユネスコクラフト創造都市 2009年加盟

金沢経済同友会と金沢市長によるリーダーシップ



福光松太郎
金沢創造都市推進委員長



山出保 前金沢市長



工芸文化首都金沢へ 2020

金沢創造都市会議の提唱が実を結び、国内外の工芸作品3000点以上を収蔵する国立近代美術館工芸館が金沢への移転され「国立工芸館」としてオープンした。九谷焼や加賀友禅、輪島塗といった伝統工芸が盛んな土地柄や北陸新幹線の金沢延伸による交通アクセスの良さがアピールした。

観光名所「兼六園」の周辺地に立地することにより、隣接する県立美術館や同伝統産業工芸館、金沢21世紀美術館といった既存文化施設との相乗効果が期待される。



東アジア文化都市



クリエイティブシティ・ヨコハマ構想

横浜市一大規模なウォーターフロント開発の挫折に直面し、「芸術文化特区」による都市再生を目指す。

2004年1月「クリエイティブ・シティ・ヨコハマ」構想を発表し、同年4月には文化芸術都市創造事業本部を置き、**全国初の創造都市推進課**を設置して、5,000人のアーティスト・クリエイター、30,000人の創造産業従業者からなる創造産業クラスターの形成と“BankART1929”をシンボル事業として創造界隈の形成を目標に掲げている。



Goal until 2008



創造都市の取組の概要①～創造界隈の形成



ヨコハマ創造都市センター



急な坂スタジオ



初黄・日ノ出町
芸術文化振興拠点施設



ハンマーヘッドスタジオ
新・港区



BankART Studio NYK



象の鼻テラス

創造都市の取組



横浜トリエンナーレ
YOKOHAMA TRIENNALE

第1回
2001年

第2回
2005年

第3回
2008年

第4回
2011年

第5回
2014年

第6回
2017年

第7回
2020年

2004年
クリエイティ
ブシティ・ヨ
コハマ構想



創造農村丹波篠山 ユネスコ加盟

◎「コミュニティ」ベースの思考

◎ 土地に根ざした「生活文化」の創造性

◎クリエイティブに暮らす





限界集落再生と有機農業 「集落丸山」の挑戦 集落まるごとホテル化



古民家再生支援サービス
ホテル・レストラン・カフェに
城下町まるごとホテル化

食と器の国際ビエンナーレ



GO Tamba Sasayama
International Biennale of
Gastronomy & Pottery

創造 農村



2015
10.24 (sat)
10.31 (sat)/12.12 (sat)
11.8 (sun)



丹波篠山
Tamba Sasayama

食と器の
International Biennale of
国際ビエンナーレ
Gastronomy & Pottery

2016

1.16 (sat)
2.6 (sat)



ワークショップ 2015-2016
Workshop 2015 - 2016



お問い合わせ

篠山市政策部企画課篠山に住もう暮らし室
tel. 079-552-5106
mail kikaku_div@city.sasayama.hyogo.jp
一般社団法人ウヰズささやま
tel. 079-552-7373



丹波篠山 食と器の 国際ビエンナーレ 2015

食と器の マリアージュ Fair

Instagram にアップして プレゼントをもらおう!

期間：平成29年12月1日(金)～平成30年2月28日(土)

〒670-0001 兵庫県丹波篠山市 篠山町篠山 1-1-1

丹波篠山食と器の国際ビエンナーレ
おいしい器とおいしい時間

gibiell

集落丸山でジビエを楽しむ

ユネスコ食文化都市鶴岡



ラムサール条約湿地



鶴岡市：豊かな四季と海、山、川に囲まれた特異な地形

多様な地形、風土がはぐくむ食の宝庫 鶴岡

City of Tsuruoka



鶴岡食文化 映画祭

City of Tsuruoka



在来作物を活かした絶品イタリアンレシピ

日本の創造都市・農村取組の成果

1. 地域が直面する困難を乗り越えるために大胆な構想を持って推進を始めた。
2. 芸術家、文化団体、経済人、市民の協力の下で事業計画が立てられた。
3. 従来の文化政策の枠を超えた広がりがあり、行政内部の横断的融合的な展開が課題になっている。
4. ユネスコなど国際的全国的な経験交流を通じて取り組みが拡大している。

「創造社会における文化政策の要点」

第1に、地域に固有の文化伝統や自然環境を現代的視点から読み解き、再評価し、再編集して、独自のコンセプトを確立し、政策目標を立てることが重要である。

第2に、地域固有の歴史や伝統に着目するのみならず、現代アートの持つ創造性を重視して、時には、伝統と先端との「衝突」を起こして、絶えず文化を革新していくことが重要である。

第3に、行政や一部の大企業に依存した文化計画ではなく、芸術家やNPO、広範な市民など多様な主体との対話による文化創造を軸に創造社会づくりを進めることが重要である。

第4に、文化計画を産業振興や環境保全、都市計画と融合させて進めることが重要であり、同時に独立した権限を持つ専門的な芸術委員会(アーツカウンシル)制度を導入することも緊要である。

おわりに

- 創造都市と創造農村の連携で日本再生をめざす
- 国内外の「創造都市」ネットワークの広がりに合流し「あたらしい創造的な日本とアジア」をつくる

参考文献

拙編著『創造社会の都市と農村』(2019年)水曜社

拙編著『創造農村』(2014年)学芸出版社

拙著『創造都市への挑戦』(2012年)岩波現代文庫版

拙編著『創造都市と社会包摂』(2009年)水曜社

拙編著『価値を創る都市へ』(2008年)NTT出版

拙編著『創造都市への展望』(2007年)学芸出版社

拙編著『CAFE-創造都市・大阪への序曲』(2006年)法律文化社

拙著『創造都市への挑戦』(2001年)岩波書店

拙著『創造都市の経済学』(1997年)勁草書房